

奥州金ヶ崎行政事務組合議会定例会

"年末年始時期、休日診療所の運営" & "周産期救急医療の強化について"

倉成淳管理者(奥州市長)は施政方針演述の中で胆沢ダムを水源とする胆江広域水道用水供給事業において令和10度までとしていた「たんこう浄水場」の第3期整備計画の完了が、工事費の計上漏れや建設資材の高騰等で事業費が約74億の増加となり、厳しい見通しなったと説明。「構成市町と設置する検討組織で、今後の事業の見直しを早急に進めていくことを明らかにしました。



奥州金ヶ崎休日診療所・夜間診療所

日本共産党市議団の一般質問は次のとおりです

- 質問は2月20日午前10時から
地域医療の現状と今後のあり方について
1、地域医療の現状とそれを支える
市立医療施設の役割について
2、新医療センターについて

佐藤美雪 議員



瀬川貞清 議員

○質問は2月21日午前11時頃から

- 1、健康づくりの推進について
加齢性難聴への対応について
2、地域福祉の推進について
孤独死対策の取組みについて



- 1、女性消防協力会の現状と
支援について
2、自殺対策の取り組みについて

菅原明 議員

○質問は2月21日午後1時頃から

- 1、中小農家の支援策としての
農機具購入制度の創設について
2、基幹地域包括支援センターの廃止
並びに訪問介護サービスの
実態について



今野裕文 議員

○質問は2月25日午前10時から

- 1、大規模災害時の備えについて
避難所運営について
情報の収集及び伝達について
2、訪問看護の現状と事業者支援について



千葉敦 議員

佐藤美雪議員は、初めに奥州保健所管内においてインフルエンザが大流行したことあげ、特に医療機関が休診する年末年始時期の、休日診療所でのインフルエンザや新型コロナウイルス感染症への対応状況について質しました。

日診療所と周産期救急体制の現状と課題について取り上げました。今回は、佐藤美雪議員の一般質問を紹介します。

定例会の一般質問では、佐藤美雪議員が、地域医療を支える休日診療所と周産期救急体制の現状と課題について審議が行われました。

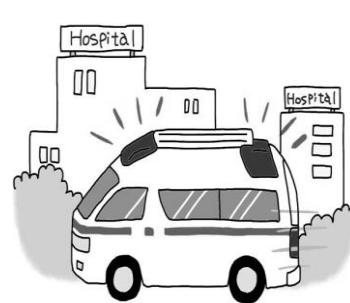
定例会の一般質問では、佐藤美雪議員が、地域医療を支える休日診療所と周産期救急体制の現状と課題について審議が行われました。

次に佐藤美雪議員は、この地域で分娩ができなくなり、周産期救急の重要性が増している状況の中、任務にあたっている救急隊員に対し感謝するとともに、その実態と課題について質しました。

救命士の周産期救急の研修体制について、昨年度から力を入れ、岩手県立大学看護学部と協力して独自のプログラムを構築し、他の職員に指導できるような救命士を育てるため行っている。車内で出産する事態にも対応できるよう、研修を進めていると答弁しました。

佐藤美雪議員は、「破水が起こる

と出産が早まり、不安も高まる妊娠さんへの心のケアも必要になります。また、そのような場面で女性救命士の役割も大きい」と述べ、一層の救急体制強化を求めました。

**おうしゅう**

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

**令和6年度(現在まで) 周産期の救急搬送5件****警戒の出産とも対応できました**